



令和6（2024）年7月29日

芳賀町におけるカーボンニュートラルのまちづくりに向けた包括連携協定の締結について

芳賀町  
東京ガス株式会社

芳賀町（町長：大関 一雄）と東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一）は、このたび、カーボンニュートラルのまちづくりに向けた包括連携協定（以下「本協定」）を締結いたしました。

芳賀町は、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「芳賀町 2050年カーボンニュートラル宣言」を表明し、その実現に向け、これまでも脱炭素の取組を推進してまいりました。

本協定は、そうした取組をさらに促進するものであり、脱炭素社会の構築およびレジリエンスの強化に貢献するとともに、地域の課題解決や更なる魅力創出等、地域の一層の発展を図り、持続可能なまちづくりの実現につなげてまいります。



（左から 芳賀町長：大関 一雄、東京ガス常務執行役員：小西 雅子）

#### 【連携事項】

- (1) カーボンニュートラルのまちづくり実現に向けた取組のトータルコーディネートに関する事項
- (2) エネルギーの地産地消に関する事項

- (3) 個人及び事業者への太陽光発電設備等の普及に関する事項
- (4) 低炭素エネルギーの調達と公共施設等への供給に関する事項
- (5) 地域のレジリエンス強化に関する事項
- (6) 学校等における環境エネルギー教育、町の行事等を通じた啓発活動に関する事項
- (7) 各種取組における専門的人材の支援強化に関する事項
- (8) その他カーボンニュートラルのまちづくり実現に関する事項

【締結日】

2024年7月29日

【関係者コメント】

◆芳賀町 町長 大関 一雄 コメント

芳賀町は、令和4(2022)年11月にLRT沿線エリアが脱炭素先行地域に選定され、先行して一部区域のカーボンニュートラル実現に向けて取組を進めております。

また、令和6(2024)年4月に「芳賀町2050カーボンニュートラル実現計画」を策定し、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「芳賀町2050年カーボンニュートラル宣言」を表明しております。

「芳賀町2050カーボンニュートラル実現計画」につきましては、環境審議会を開催し、各分野の皆さまから御意見をいただきながら策定いたしました。特に東京ガスとは、環境に関する情報収集を行う中で、エネルギー分野における連携を継続して進めてまいりました。

この度の協定の締結で、東京ガスの有するカーボンニュートラルのまちづくりに資する知見をお借りし、更なる緊密な相互連携に基づいた取組を実施できることを大変心強く思っております。

目標の達成に向け、環境政策を加速させ「スーパースマートタウン～幸せを実現できるまち～」を目指し、町・町民・事業者が連携・協働して取組を進めてまいります。

◆東京ガス株式会社 常務執行役員 地域共創カンパニー長 小西 雅子 コメント

当社は、東京ガスグループ2023-2025年度中期経営計画「Compass Transformation 23-25」において、「エネルギー安定供給と脱炭素化の両立」「ソリューションの本格展開」を掲げ、多くの企業・自治体の皆さまとの協業を通じ、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組を進めております。昨年11月には、エネルギーの枠を超えてお客さまが抱える課題を解決するソリューションブランド「IGNITURE（イグニチャー）」を立ち上げました。

本協定の締結により、町・町民・事業者が相互に協力し、「スーパースマートタウン～幸せを実現できるまち～」の実現に向けた取組を推進する芳賀町とともに、当社グループが創業以来培ってきたお客さまからの「信頼」や、「地域密着力」を活かし、連携できることを大変嬉しく思います。

芳賀町とはこれまで、脱炭素先行地域の共同提案者となる地域新電力事業（宇都宮ライトパワー）での再生可能エネルギーの供給や、環境審議会への参加など、脱炭素に関わる様々な取組を通じて連携を深めてまいりました。

今後も、芳賀町との価値共創により、地域課題の解決および持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

(参考) ソリューション事業ブランド「IGNITURE（イグニチャー）」について



東京ガスは、「ソリューションの本格展開」に向け、2023年11月30日、ソリューション事業ブランド「IGNITURE」を立ち上げました。「IGNITURE」の下で展開するソリューションにより、ご家庭、法人、地域・コミュニティのお客さまが、「最適化による経済性・利便性・効率性向上などでさらに豊かな未来」と、「脱炭素・レジリエンス向上などでサステナブルな生活・事業」を、無理なく両立できます。

IGNITUREの詳細は[こちら](#)

以上